

はかりの定期検査を 行います

今年から検査の対象がかわります

取引や証明上の計量が正しく行われるためには、正確な計量器が正しく使われなければなりません。そこで、一定の期間ごとに使用中の計量器の検査をして、不良なものを除いて適正な計量の実施を図ることが定期検査の目的です。

商店や会社・宅配便などの取引用(営業用)および、病院・学校・保育所などの証明用に使っているのはかりは、

式はかり・光電式はかりなどが検査の対象になります。不明な点または、今まで検査を受けていない場合は、観光商工課商工係(☎五四一〇一一一内線一六二)へお問い合わせください。

- ・小来川支所 六月二日(木) 午前十時三十分～十一時三十分
- ・総合会館 六月二日(木) 午後一時～二時三十分
- ・中宮祠出張所 六月三日(金) 午前十時三十分～十一時三十分
- ・清滝出張所 六月三日(金) 午後一時～二時三十分
- ・市役所車庫前 六月六日(月) 午前十時～午後三時

男もかわる女もかわる 個性いきいき NIKKOフォーラム'94の 実行委員を募集します

男女共同参画社会の実現を目指し、NIKKOフォーラム'94を開催するため、市民の皆さんに企画・運営をしていただくため実行委員を募集します。皆さんのご応募をお待ちします。

- ◆募集対象 十八歳以上で性別は問いません。
- ◆募集期間 五月十日(火)～三十一日(火)
- ◆募集人員 十五人程度

申し込み、問い合わせは、市民生活課女性行政係(☎五四一〇一一一内線一二七)まで。



輝いて女と男をつなこうと手と手をメインテーマに開催された、NIKKOフォーラム'93のもよう(平成五年十二月)

美術館準備班 だより ⑪

作品紹介(五)

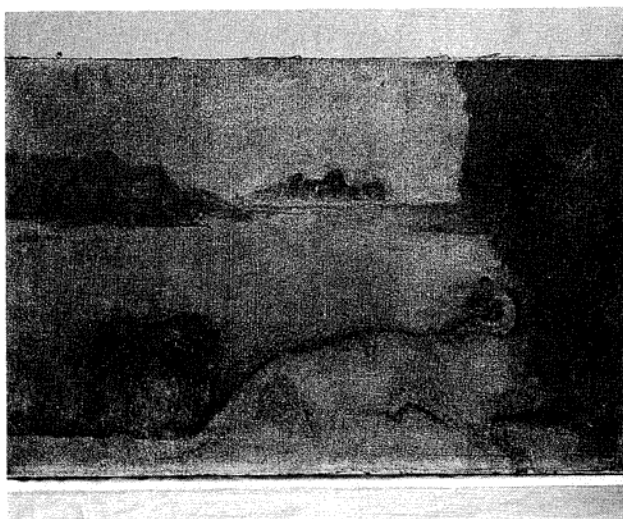
小杉未醒 「牧童」
油彩・キャンバス

遠くに高山を望む、大きな湖のような場所の畔で、牧童が笛を吹きながら牛に水浴びをさせている情景を描いた、一九一〇年代後半(大正半ば頃)の制作と推定される作品です。

画面は大まかに上下に三等分され、上部三分の一には、遠景として青く輝く彼方の高山と湖の対岸の低い山が描かれ、中央三分の一には、中景として水面が、そして、下部三分の一には、近景として、水浴びをする牛と、画面の右側四分の一ほどを占める木の下で、地面に腰をおろして笛を吹く牧童が描かれています。牛の描き方や姿態には、大正五年の「或る日の空想」や、あるいは、出光美術館所蔵の昭和三年の「田父酔婦」や大正八年の「出関老子」など、大正年間から昭和初期の作品に登場する牛に通ずる特徴を見いだすことができますし、笛を吹いて

いる牧童の猫背のように腰をまるめ、足を前方へ投げ出し、不自然なほど背中から腰にかけての曲線を強調する、デフォルメした描き方も、やはり、同時期の多くの作品に見られる、未醒(放庵、放菴)独特のもので、作品自体は、かなり変色や褪色がすすみ、とくに画面右側の木などは、写真では岩のようにも見えますが、しかし、間近で見ると、画面全体の微妙で繊細な筆触がいきいきと感じられ、要所に配された青色も画面を引き締めて個々のモチーフを際立たせる効果をあげています。

遠近表現こそ、いまだに西洋画的ですが、おそらく、油彩の技法で、中国の水墨画の世界を表現しようとし、絵具や筆の使い方を工夫して、洋画と水墨画を融合させようとした実験的な作品ではないでしょうか。



たて 40.8cm・よこ60.6cm